

スポーツ なかま in TOYAMA

第334号

2017年3月1日

発行)新日本スポーツ連盟

富山県連盟

〒930-0093 富山城内幸町3-23

パークビル4F

発行責任者 荒井英治



好天の牛岳スキー場で、 無料スキー教室！

1月29日(日)牛岳スキー場で富山県スキー協議会の岡本指導員と高橋指導員の協力で無料スキー教室を実施しました。参加者は4名で大人が1人、小学生が3人で、大人の方はベテランのスキーヤーだったので自由に滑ってもらい、

子供3人はほぼマンツーマンで午前2時間、午後2時間の指導となりました。当日は絶好のスキー日和でゲレンデは沢山のスキーヤーで賑わい、リフト乗り場は長蛇の列でした。参加した子供たちは丁寧な指導を受けて上手に滑れるようになり、満足そうでした。一人でも多くのスキー愛好者を増やし、寒さにめげない元気な子供たちを育てていきたいものです。後日、受講した子どもから感想文が送られてきました。指導員の感想も併せて掲載します。

↓ 指導員の感想

◆岡本指導員：生まれて初めてスキーをはくという二人でしたが、頑張り屋で午前には歩き方やブルークをしっかりと練習し、午後からはリフトを使って楽しく滑ることができ最後に二人とも「またスキーをやりたい」と言ってくれたのがよかった。

◆高橋指導員：昨シーズンと同じ女の子で楽しく滑れたのですが、相変わらずノーマル板なので少しやりにくそうでした、来シーズンはカービング板で楽しく滑ろう。

↓ 子供の感想



人生はつのスキー
うまくてよかったです。
です。高い所から
すべたら予想以上の
スピードが出たので
おどろいたけどバランス
をとてもよかったです。



高橋の指導員は、スキーをやるのがはじめて、しかも、白板で、
滑ることを初めて、やることで、リフトに乗って、滑ると、自分か、思っていた以上
で、滑るスピード、は、思いました。また、楽しんでスキーをしたいと思います。ありがとうございました。

新日本スポーツ連盟第32期第1回評議員会に参加して

荒井英治

2月11日(土)、12日東京で開かれた評議員会に参加しました。総会は2年に1回開かれますが、評議員会は毎年1回開かれます。今年は総会の無い年のため、評議員会での議題は第32期(2016~2017年)の2016年度分の活動報告・決算報告と、2017年度の重点課題と方針案についてでした。議論になったのは「今後1年間で10%増、4500人の拡大に取り組む。」という2017年度の方針案についてでした。「そもそもこんな目標値を決めてどんな意味があるのか?」、「各クラブはそれなりに会員数を増やしたり、各県連においても新規のクラブを作ったりしてスポーツ連盟員を増やす努力はしているはず。その結果として近年はスポーツ連盟員総数が微増微減の状態が続いている。この上に10%増、4500人増の達成目標を決めるのは何故?」などの疑問や反論が出ました。これに対して石川事務局長と会長の和食さんは「確かに出された疑問・意見はもつともで、そのとおりである。打明けた話、日本勤労者山岳連盟がスポーツ連盟の構成団体から賛助団体となったことによる財政的ダメージへの対応策という一面があるのも事実ではあるが、スポーツ連盟の『スポーツ君が主人公』の言葉に表されている『全ての人対等・平等・相互尊重の人間関係をスポーツを通じてつくりあげていく。』というスポーツ連盟の理念を社会に広めていくためには組織の拡大はどうしても必要なこと。そのためには具体的な目標値をたてるのが欠かせない。」と答えて、理解を求めました。評議員からは賛同する意見も出て、評議員会の総意として、各種目団体、各県連組織において連盟員を増やすことに今一層の努力をすることを確認しました。私の印象に残ったのは、若い人が何人も評議員会に参加しておられて率直で具体的な意見を述べておられる姿でした。とても頼もしく感じました。こんな若い人たちがどんどんスポーツ連盟に入って欲しいなと思いました。

《新日本スポーツ連盟附属スポーツ科学研究所》 今回の評議員会で私にとって嬉しかったのは、2年前にスポーツ連盟の附属機関として設置された《スポーツ科学研究所》の役割と存在意義が納得できたことでした。正直言って、スポーツ連盟に『スポーツ科学研究所』なる機関が必要なのか疑問に感じていました。運動生理学を始めとしてスポーツに関する研究は大学等、あるいは日本体育協会、JOCなどのスポーツ団体の附属機関で行われていて、それらと重複するようなことをしても意味がないし、いったいどんなテーマを研究するのか皆目見当がつかずモヤモヤした気分がありました。今回の評議員会で配られた資料の『スポーツ科学研究所の課題と展望を探る。』や創刊号『現代スポーツ研究』をパラパラとめくって小見出しを見ただけで、「なるほどこれだな、これしかないだろう。」と強く共感できました。それまで私が想定していた領域の研究とは全く違った領域を探る研究所なんだと気づかされました。中身まで詳しくは読んでいませんが、私の早合点では『スポーツと人間社会』、『スポーツといのちの輝き』、この2つテーマで研究が進んでいくのだろうという予感がします。具体的な話、現在、エリートスポーツが国や会社組織に縛られて競技者個人の尊厳がないがしろにされて、成績至上主義、そのためのドーピングなどが本人の知らぬ間に施されていたり、テレビ放映の時間帯に合わせて試合時間が決められたりといった本末転倒の状況があります。どうしてこんなことになっているのかその社会的要因を探り、その処方箋を提示していくこと。それと「スポーツって人間にとって何?」、この哲学的で・素朴な・興味深い問いかけを色々な学問領域から解明していくことで、多くの人々に人間の存在の意味を深く考えさせるような知見を提供していく。この2つの基本線に沿って研究活動がなされていくものと期待しています。

各クラブの予定

富山ハイキングクラブ

3月4日(土)	御鷹山
3月12日(日)	馬鬣山
3月19日(日)	高落場山
3月25日(土)	尖山
4月2日(日)	岩倉観音山

三島野スポーツクラブ

3月15日(水)	残雪の上高地散策
3月19日(日)	雪上訓練 (旧利賀スノーパレースキー場)
3月25日(土)	西穂独標(自主企画)

常願寺川マラソン・ジョギング大会の ボランティアスタッフを募集しています

大会実施日：2017年3月26日(日)

場所：常願寺川公園中央駐車場の公園管理事務所前

集合時間：午前8時(受付開始前に打合せを行います)

3月26(日)に実施するスポーツ連盟主催の常願寺川マラソン・ジョギング大会のボランティアスタッフを募集しています。主な役割は下記のとおりです。

ご協力をお願いします。

☆受付：参加費徴収と資料渡し

☆コース係：折返し地点での走者確認と輪ゴム渡し

☆スタート・ゴール係：ゴールテープ張りとは着順カード渡しと回収、タイムコール

☆写真係 ☆豚汁サービス係

協力いただける方は下記にご連絡ください。

連絡先 青山光夫さんへ 携帯電話 090-4683-9486

早春の常願寺の流れを見ながら走りませんか

日本大震災等自然災害復興支援

第8回常願寺川マラソン・ジョギング大会のお知らせ

河川道路を走ります。初心者・初級者歓迎

2017年3月26日(日)



種目 5kmの部(男・女): 1往復

10kmの部(男・女): 2往復

両部とも午前9時30分同時スタート

*順位表彰はしません。各自掲示時計にて確認

参加費: 中学生以上800円、

小学生以下500円(完走証・傷害保険・ドリンク・参加賞)当日払い可

当日参加も受付ますが中学生以上1,000円とします

受付: 午前8時30分~9時20分

常願寺川公園中央駐車場・公園事務所横にて

申込: 3月22日まで(以降は当日扱)FAXまたは、お近くの連盟員まで

Eメールも可 aoyama_m@mou.ne.jp

主催: 新日本スポーツ連盟 富山県連盟・富山市内幸町3-2-2パークビル4F

後援: 常願寺川公園管理事務所 076-463-2034

主管: 雷鳥ランニングクラブ

FAXはこちら076-422-2852

問合せ 青山光夫へ 090-4683-9486



第8回常願寺川マラソン・ジョギング大会参加申込書

氏名		男 女	年令	才(大会当日)
住所	〒		種目	km
連絡先電話		所属		

よろしければ、メールアドレスを